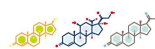




## 前に進むきっかけ



新年を迎えた1月1日。石川県能登地方を震源とする能登半島地震が発生しました。今もなお、たくさんの方々が避難生活を余儀なくされている報道を目の当たりにして、13年前の東日本大震災を経験した自分たちに何ができるのかと考えた人も多いのではないのでしょうか。現代は将来の予測が困難な時代（VUCA 時代）と呼ばれています。この数年を振り返ってみても、毎年のように繰り返される巨大地震や豪雨などの自然災害、新型コロナウイルス感染症、世界各地で起きる紛争など、本当に予測できないことが日々起こっています。もうすぐ高校2年生が終わり、進路が目前にある皆さんは今どのようなことを思うのでしょうか。ふと、皆さんと同じ頃の私は何をしていたのかと思い出してみました。

当時の私は全く勉強もせず、部活の吹奏楽だけに明け暮れていました。まわりの友人も同じような状況で、どこか当然みたいに思っていたのかもしれませんが。そんな私たちをそばで見ていた顧問の先生が、部活動後に半ば強制的な勉強会を設けてくれたのがちょうど2年生の2月頃でした。定期演奏会を間近に控えていたこともあり、当初は反発もしましたが、それまで勉強らしい勉強をしてこなかった自分にとって大学進学を本格的に意識したきっかけだったと思います。結果的にこの先生への憧れから、高校教員を目指して教員養成学部へ進学することになりました。そんな希望を持ちながら進学した私でしたが、今度は「化学」について全然分かっていなかったんだと気づきます。講義はもちろんレポートを書くときにつまづいたんです。実験や内容は面白いけど本質的なことが分かっていない。焦りました。自分で専門書を買って、「化学」の奥深さに触れるきっかけになりました。とはいえ、教員養成学部。音楽や美術、家庭科などいろいろな勉強も同時にしていかななくてはなりません。「大学院に行こう」と思うようになったのは自然だったかもしれませんが。そんな日々を過ごしながらかつていた研究室の教授から「本格的に学びたいなら理学の大学院に行ったら？分野は違うけど、最先端の研究をしている先生がいるよ？」と一言。研究に没頭した2年間を過ごす研究室が決まったきっかけでした。もちろん、高校の教員になるまでもいろいろなことがありましたが、今回は割愛。

だらだらと書き連ねましたが、私が前に進むきっかけを与えてくれたのは2人の恩師の存在です。2人には感謝しても感謝しきれません。同時にその時の自分自身が真剣に悩み、考え、もがいていたからこそ、そのきっかけに気づけたのかもしれないと思っています。改めて高校2年生も終わりを迎えます。この1年は皆さんの人生にとって大きなターニングポイントの1つだと思います。

皆さんを支えてくれる人は必ずいます。だからこそ、精一杯悩み、考え、もがくこと！  
皆さんが前に進むきっかけになれば嬉しいです。



2学年付 教務主任 佐藤 悠介

## 《2月の主な行事》

1日（木）面接週間（短縮授業、～2日）⑦カット

3日（土）進研共通テスト模試（一般）  
全統共通テスト（特進）

～4日（日） //

6日（火）考查1週間前

10日（土）考查前学習会

11日（日）建国記念日

12日（月）振替休日

13日（火）学年末考查（～16日）

17日（土）駿台模試（希望者）

23日（金）天皇誕生日

28日（水）⑥⑦卒業式会場作成

29日（木）卒業式予行・表彰式



## ◎3学年0学期いよいよ始動です！！

あっという間に2学年も終わりに近づいてきました。1月の記述模試と2月の共通テスト模試ではドッキング判定も出てきます。13日（火）からは学年末考查が始まります。いよいよ本格的に受験生モードに突入ですね。そこで、学年集会を開き、学年主任から「輝く未来を手に入れるために」という題でこれから身に付けるべき3つの力について話をさせていただきました。内容は以下の通りです。

### 1「千到力(戦闘力)」

2年生夏からの学習時間は1000時間（夏300+秋300+冬250+150）に到る（はず！）。その「千」の波を越えてゴールに到るための「圧倒的基礎力」を身につけましょう。

### 2「冬走心(闘争心)」

講演会でお世話になっているベネッセの小林壮さんも私たち教員に話をしてくださいましたが、この冬についた学力の差は、全国の模試のデータを見ても、ほとんど逆転することがないようです。それは部活動においても同じです。つまり、この冬、文武両道において「走る」のか、「歩く」のか、「止まる」のか、あなた自身の闘争心が来年度には全国場で試されます。そのための心と体を手に入れてください。



### 3「春発力(瞬発力)」

もうすぐ卒業式、終わってすぐに高校入試、授業がない日が多くなるこの時期。この間で文武両面において差が大きくなります。春は一斉に皆が動き出す時期。心機一転、「今度こそ勉強に部活動に力を入れよう！」ではなく、まだ全国が走り出さない春早々にはスタートダッシュするための瞬発力が必要です。そのためには、この時期に入念な準備をしてください。

以上3点についての話があり、みんな真剣に聞いていました。その後、各教科の先生方からは今この時期にやるべき学習について具体的に話をさせていただきました。

## ◎南相馬の魅力発信！！道の駅セデツテかしまに展示



昨年春、南相馬市の魅力を発信しようと、道の駅が原町高校生に依頼し、始まったこの企画。美術部員や、「総合的な探究の時間」の課題研究の中の絵画制作班の人たちが約半年かけて3作品の力作を仕上げ、現在、同道の駅に展示されています。テーマは「高校生の目線から見た南相馬」です。実際に取材に向き、朝の通学路で見る風景や長年愛され続けている駄菓子屋、市民の憩いの場である北泉海岸と原町火力発電所をアクリル絵の具を使って描くなど、懐かしさや身近な魅力を感じさせる作品に仕上がっています。ぜひ、足を運んでみてください。

## ◎第42回福島県高等学校総合文化祭美術・工芸部門 第49回福島県高等学校美術展 福島県代表作品選出決定！！

2年2組田中由唯さんが、第42回福島県高等学校総合文化祭美術・工芸部門・第49回福島県高等学校美術展の福島県代表作品に見事選出されました。約250点の中から6点だけが選出されています。おめでとうございます。来年度の第48回全国高等学校総合文化祭「清流の国ぎふ総文2024」に出品することとなりました。

◆作品タイトル 「まどろんだ世界」

◆作品解説 メダカの水槽は自分の気持ちが入った入れ物を表していて感情が四方にメダカと共に広がっていく様子を表現しました。

